



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ツムラ

コード番号 4540 URL <https://www.tsumura.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 照和

問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーション室長 (氏名) 土屋 洋介 (TEL) 03-6361-7100

四半期報告書提出予定日 2018年11月7日 配当支払開始予定日 2018年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト・報道機関向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	58,268	△0.0	8,950	△0.4	9,566	3.4	7,082	7.1
2018年3月期第2四半期	58,282	3.4	8,985	14.2	9,248	25.6	6,614	24.5

（注）包括利益 2019年3月期第2四半期 7,197百万円（△0.8%） 2018年3月期第2四半期 7,254百万円（－%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	92.63	—
2018年3月期第2四半期	96.16	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	278,880	201,283	71.1
2018年3月期	292,379	196,533	66.2

（参考）自己資本 2019年3月期第2四半期 198,273百万円 2018年3月期 193,599百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	32.00	—	32.00	64.00
2019年3月期	—	32.00	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	—	—	32.00	64.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,500	2.2	17,500	2.6	18,000	0.5	12,800	△11.8	167.41

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(注) 特定子会社の異動には該当していませんが、当第2四半期連結会計期間において、平安津村有限公司は、重要性が増したため連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料の8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期2Q	76,758,362株	2018年3月期	76,758,362株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	300,432株	2018年3月期	300,382株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期2Q	76,457,973株	2018年3月期2Q	68,782,351株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の売上高は、本年4月に実施された薬価改定による影響を受け、前年同期に比べ14百万円減少し、58,268百万円となりました。

利益につきましては、営業利益8,950百万円（前年同期比0.4%減）、経常利益9,566百万円（前年同期比3.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益7,082百万円（前年同期比7.1%増）となりました。売上原価率は、薬価改定による上昇分を生薬関連コストの低減等で吸収し、前年同期に比べ1.5ポイント低下しました。一方、販管費率は1.5ポイント上昇し、これらの結果として、営業利益率は前年同期と同じ、15.4%となりました。

医療用漢方製剤全体の売上高は、前年同期と同程度となりました。漢方医学に対する医療関係者のニーズは益々多様化しており、医師への面談、医療機関連説明会、漢方医学セミナーを基本とし、基礎・臨床エビデンス、漢方掲載の診療ガイドラインおよび漢方医学的な処方を使い分け等に関する適切な情報提供活動を実施しております。

引き続き、漢方医学および漢方製剤に関する情報提供の拡充を図り、「高齢者関連領域」「がん領域（支持療法）」「女性関連領域」の重点3領域を中心に、潜在市場の大きい漢方市場の拡大を進めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における財政状態は以下のとおりであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態に関する説明については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

総資産は、1年内返済予定の長期借入金の返済による現預金の減少等により、前連結会計年度末に比べて13,499百万円減少し、278,880百万円となりました。

負債は、1年内返済予定の長期借入金の返済等により、前連結会計年度末に比べて18,250百万円減少し、77,596百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べて4,750百万円増加し、201,283百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は4.9ポイント増加して71.1%となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、4,479百万円の収入となりました。前年同期との比較では、たな卸資産の増減額の減少及び法人税等の支払額の増加等により6,934百万円収入が減少しております。

投資活動によるキャッシュ・フローは、4,534百万円の支出となりました。前年同期との比較では、有価証券及び投資有価証券の取得による支出の減少ならびに有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入の増加等により14,476百万円支出が減少しております。

財務活動によるキャッシュ・フローは、17,523百万円の支出となりました。前年同期との比較では、社債発行による収入の減少及び1年内返済予定の長期借入金返済による支出の増加等により42,841百万円支出が増加しております。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べて18,299百万円減少し、60,014百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年5月10日に公表しました2019年3月期の連結業績予想に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	83,520	76,036
受取手形及び売掛金	42,906	41,320
有価証券	3,500	—
商品及び製品	8,008	9,415
仕掛品	12,797	11,618
原材料及び貯蔵品	29,188	29,678
その他	10,971	16,450
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	190,888	184,517
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	64,778	64,826
その他	82,327	84,524
減価償却累計額	△75,776	△78,335
有形固定資産合計	71,329	71,015
無形固定資産		
投資その他の資産	526	682
投資有価証券	14,179	16,075
退職給付に係る資産	1,908	2,139
その他	13,547	4,450
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	29,634	22,664
固定資産合計	101,491	94,363
資産合計	292,379	278,880
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,507	6,500
短期借入金	10,314	10,314
1年内返済予定の長期借入金	15,000	—
未払法人税等	3,538	2,670
返品調整引当金	10	11
その他	14,396	10,426
流動負債合計	48,766	29,922
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	9,376	9,376
退職給付に係る負債	88	81
その他	7,616	8,216
固定負債合計	47,080	47,673
負債合計	95,846	77,596

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,142	30,142
資本剰余金	14,027	14,027
利益剰余金	140,040	144,676
自己株式	△814	△814
株主資本合計	183,396	188,031
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,748	6,002
繰延ヘッジ損益	323	506
土地再評価差額金	2,673	2,673
為替換算調整勘定	2,301	869
退職給付に係る調整累計額	157	190
その他の包括利益累計額合計	10,203	10,241
非支配株主持分	2,933	3,010
純資産合計	196,533	201,283
負債純資産合計	292,379	278,880

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	58,282	58,268
売上原価	24,404	23,536
売上総利益	33,878	34,732
販売費及び一般管理費	24,893	25,782
営業利益	8,985	8,950
営業外収益		
受取利息	33	129
受取配当金	202	124
持分法による投資利益	35	35
為替差益	104	319
その他	148	136
営業外収益合計	524	745
営業外費用		
支払利息	90	87
社債発行費	143	—
その他	27	41
営業外費用合計	261	129
経常利益	9,248	9,566
特別利益		
固定資産売却益	4	0
投資有価証券売却益	25	324
特別利益合計	30	325
特別損失		
固定資産売却損	12	0
固定資産除却損	28	46
特別損失合計	40	46
税金等調整前四半期純利益	9,238	9,844
法人税等	2,469	2,575
四半期純利益	6,768	7,268
非支配株主に帰属する四半期純利益	153	186
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,614	7,082

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	6,768	7,268
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	549	1,254
繰延ヘッジ損益	296	182
為替換算調整勘定	△446	△1,515
退職給付に係る調整額	94	33
持分法適用会社に対する持分相当額	△7	△26
その他の包括利益合計	486	△71
四半期包括利益	7,254	7,197
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,154	7,120
非支配株主に係る四半期包括利益	99	76

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,238	9,844
減価償却費	3,028	3,146
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△0
受取利息及び受取配当金	△236	△254
支払利息	90	87
社債発行費	143	—
持分法による投資損益(△は益)	△35	△35
有形固定資産除売却損益(△は益)	36	45
売上債権の増減額(△は増加)	△1,883	1,555
たな卸資産の増減額(△は増加)	3,031	△1,152
仕入債務の増減額(△は減少)	△650	1,073
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△25	△324
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△192	△193
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△43	2
その他	415	△6,266
小計	12,916	7,528
利息及び配当金の受取額	238	286
利息の支払額	△61	△94
法人税等の支払額	△1,680	△3,241
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,413	4,479
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△4,620	△1,000
有形固定資産の取得による支出	△4,315	△6,049
有形固定資産の売却による収入	11	1
無形固定資産の取得による支出	△121	△194
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△10,006	△3,806
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	39	7,501
子会社出資金の取得による支出	—	△952
貸付けによる支出	△3	△1
貸付金の回収による収入	2	1
その他	0	△33
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,011	△4,534
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△2,267	—
長期借入金の返済による支出	—	△15,000
社債の発行による収入	29,856	—
配当金の支払額	△2,199	△2,446
非支配株主への配当金の支払額	△49	△54
その他	△22	△22
財務活動によるキャッシュ・フロー	25,317	△17,523
現金及び現金同等物に係る換算差額	△181	△720
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	17,538	△18,299
現金及び現金同等物の期首残高	29,901	78,313
現金及び現金同等物の四半期末残高	47,439	60,014

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第2四半期連結会計期間において、平安津村有限公司は、重要性が増したため連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(原価差異の繰延処理)

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産(その他)または流動負債(その他)として繰り延べております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。